

認定特定非営利活動法人アレルギー支援ネットワーク 2014年度 事業報告書

I. 事業実施の方針

- ①組織・財政の基盤強化をする。
- ②アレルギー大学事業および栄養士派遣事業を基盤事業として発展させる。

II. 事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 情報の普及・啓発・交流事業

1) アレルギーの会支援事業

① 会の設立と活動を支援する事業

なごや子どもとつくる基金 115(千円)

GiveOne寄付サイト 寄付キャンペーン

266(千円) により、これらの事業を実施した。

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 保健所・保健センターなど地域の保健機関と連携をして、三河地域、尾張地域、名古屋市内など数箇所の地域の会の設立を目指す。名古屋市内の患者会については、保健所と連携した支援ができるよう働きかけを強化する。 ● 「名古屋市内連絡会」を定期的開催(年3-4回)し、名古屋市のアレルギー施策などの向上をめざし、各区の連携を強め、名古屋市に要望を提出する。 ● 「東海アレルギー連絡会」の事務局として、大規模災害に備えた広域的な連携をおこなう組織に発展できるようサポートする。特に参加回数が減っている三重県・岐阜県の患者会支援について再検討する。
結果	<p>東海地域にある40団体中 28団体に、のべ 98回の活動支援をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 田原アレルギーっ子の会、長久手アレルギーの会、東郷アレルギーの会、美濃加茂周辺のアレルギーの会の、設立支援をした。 ● 5/21(水)、9/9(火)に名古屋市内連絡会を開催し、名古屋市のアレルギー対応給食における施策などの向上をめざし話し合いを進めた。6/5(木)には、名古屋市教育委員会学校給食課(係長・栄養士)と懇談。要望を伝えた。11/11(火)に、南区社会福祉協議会・調理室において名古屋市内の患者会会員を対象に、調理実習(パッククッキング)をおこなった。 ● 5/18(日)、7/5(土)、11/29(土)、2/1(日)に、東海アレルギー連絡会の交流会の開催支援をした。6/10(火)には、災害に備えて、支援ネットから団体会員24団体に発信をして、それぞれの会で「安否確認訓練」をおこない、結果を7/5(土)にもちより検討を行った。 岐阜県の患者会は、美濃加茂の会の設立と、瑞穂市のNPO法人キッズスクエア内「アレルギーっ子とママのサークル あおぞら」への活動支援をおこなった。(7/28(月)「アレルギーのミニ講座」(中西)、11/29(土)「食物アレルギー児のための料理教室」(青木)、12/17(水)「入園・入学の準備」(中西)) <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域のアレルギーの会と連携をして、教育委員会や保育課、給食センター訪問、など自治体との情報交換会に参加した。(豊田市5/26(月)・刈谷市7/15(火)・豊橋市10/30(木)・美濃加茂3/18(水)) ● 津島保健所「あるるぎっ子サポートチームプロジェクト」事業(平成25年度・26年度事業)に参画。津島保健所管内(津島市・あま市・愛西市・弥富市・蟹江町・大治町・飛島村)の、保育園・幼稚園職員、小中学校関係者、NPO(支援ネット)、各市町村母子保健担当者、保健所職員等、関係機関が、アレルギーに関する問題や課題を共有し、連携して支援するサポートチームを構成し、小児アレルギー疾患児も安心して暮らせる地域づくりに取り組んだ。 平成26年1/31 第一回連携会議 アレルギー児が安心して健やかに暮らせる地域づくりの検討

<p>2月 保健機関、保育園・幼稚園におけるアレルギー児の対応に関するアンケート調査 アレルギー講演会 講師 あま市民病院 菊池 哲先生 交流会</p> <p>3/13 第2回連携会議 乳幼児期における実態調査をもとに対応を検討</p> <p>6～7月 小中学校における食物アレルギー児の対応に関する実態調査</p> <p>7/17 第3回連携会議 学校保健における実態調査を元に対応を検討 保護者教育用リーフレット、プロジェクト報告書の作成について</p> <p>8月 食物アレルギー講演会 漢人直之先生 交流会</p> <p>11月 保護者教育用リーフレット(案)、報告書(案)の作成</p> <p>平成27年3/13 第4回連携会議 保護者教育用リーフレット(案)、報告書(案)の作成について 今後の小児アレルギー疾患対応のあり方について</p> <p>●愛知県教育委員会・学校給食における食物アレルギー対応に関する検討委員会の委員として 伊藤副理事長・中西が、委員会に参加した。第一回委員会9/12(金) 第2回委員会 12/15(月) 第3回委員会 2/9(月)</p>
--

②「アレルギーの患者家族会」支援助成事業(会活動費助成事業)

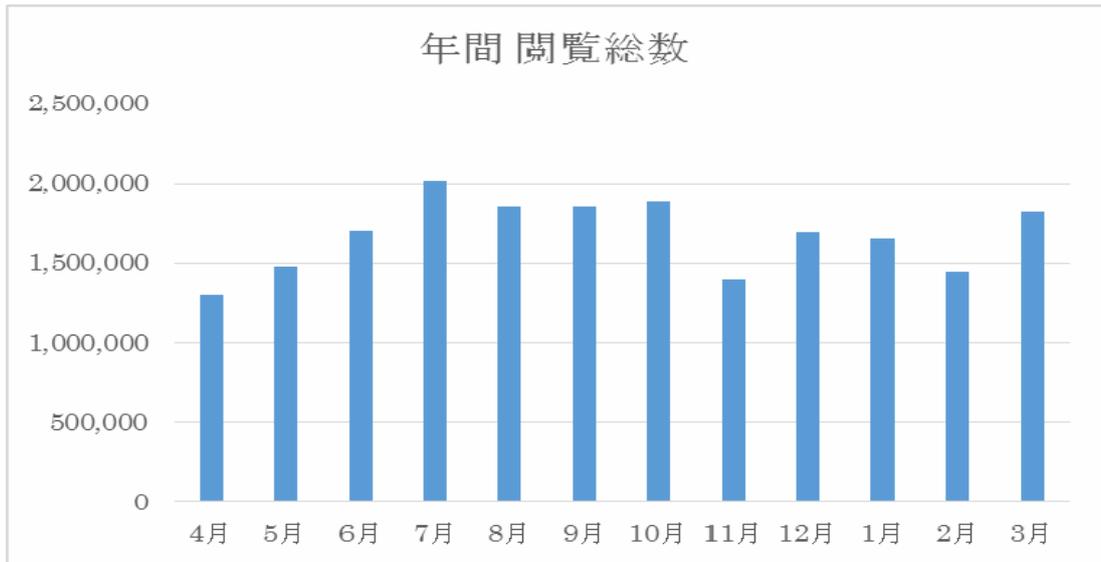
事業内容	「アレルギーの会」が継続して活動をすすめるには会の運営資金を会費で賄うだけでは困難であり、持続的に会財政が潤う仕組みを工夫し、支援する。具体的には、小口の助成金収入と物品販売活動を通して会の収入が増えるよう援助する。
結果	会の共同購入による活動費助成金は、4団体に対して 5,759円の還元金。 <団体会費減免申請> 13団体(21団体中)

③スタッフ、リーダー育成事業

事業内容	アレルギーの会を支えるお母さんたちは、孤立しがちな患者やその家族同士を結びつけ励ますために、日々苦勞しているが、自らを研鑽し、スキルアップを図るための支援は殆どない。このため、支援ネットの(ボランティア)スタッフのスキルアップはもとより、各会のリーダーを支え、育成する事業をおこなう。 アレルギー大学基礎・初級以上に参加するリーダー(各会年・3人まで)の資料代などを免除し、中級以上の受講については交通費を補填する。又、スタッフやリーダーに必要な資質を向上するための養成プログラムをそれぞれが自主的に計画できるようにし、実施する。
結果	「リーダー養成講座」として、アレルギー大学を 6団体のリーダー 7人が受講した。 (名古屋南部の会2人・岡崎アレルギーの会1人・蒲郡アレルギーっ子の会1人・春日井アレルギーの会1人・名古屋・緑アレルギーの会1人・豊川アレルギーっ子の会1人) 全講座終了後、感想文の提出をもって、受講費の返金と交通費を支給した。 受講費 184,000円 交通費 16,380円

2)ホームページ・メールマガジンによるWeb情報の提供

事業内容	HPの情報の追加と更新およびHP原稿の依頼を随時行う。 広告欄の掲載を賛助会員から募集し、掲載を進めていく。 支援ネットでの活動報告をGIVEONEサイト、gooddo(ソーシャルグッドプラットフォーム)に定期的に行う。
結果	【HP閲覧状況】 年間閲覧総数：20,126,032(4月～3月合計数)



検索キーワード

4～9月「食物アレルギー」「アナフィラキシーショック」「アレルギー大学」が上位にある。
12月から「ハウスダスト」「母乳 アレルギー」での検索が急増した。

【メルマガ登録者数】1,225件(PC用:894 携帯用:331)

新規登録 PC用 118件、携帯用 66件

【gooddo(ソーシャルグッドプラットフォーム)】(3ヶ月に入金)

広告協賛費としての収入 4月～3月 49,692円

【GIVEONE】オンライン寄付サイト(カード決算の為2ヶ月後の入金)

「東日本大震災」・・・終了

「ぜん息・食物アレルギー児への支援」4月～3月43,000円(手数料含む6,450円)

「アレルギーっ子の防災・救援ネットワークシステム」4月～3月132,750円(手数料含む19,891円)

「東海地域にアレルギーを持つ親子を支えるサロンを」4月～3月153,250円(手数料含む22,986円)

3) 講演会・講習会の開催および講師派遣事業

事業内容	<p>アレルギーなどに関わる科学的知識や実生活に役立つ情報を広げる講演会や講習会を行う。</p> <p>i) アナフィラキシー対応とアドレナリン自己注射器の講習会(あいち小児保健医療総合センター) 食物アレルギー児の誤食事故の対策として園や学校の教職員などから要望の多い講習会を月に1回程度開催する。</p> <p>ii) 講演会講師の派遣 自治体や企業からの依頼に応じ、アレルギー専門医・管理栄養士など講師の派遣を行う。</p> <p>iii) 第31回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会における共催 ワークショップにおける共催、および環境再生保全機構が行う市民公開講座に共催する。</p> <p>iv) アレルギーっ子のフェア開催 (2015年3月7日(土)～3月8日(日)名古屋国際会議場 展示室)</p> <p>v) 各地の患者会が主催する講演会に協力する</p>
結果	<p>i) 5/15.5/30.6/12.7/25.8/29.10/21.2015.1/29 合計7回の開催で受講生は、493人。</p>

日程	所属内訳														
	申込人数	出席人数	保育園	幼稚園	小学校	中学校	高校	特別支援	大学・短大	消防	保護者・個人	施設	専門学校	教育委員会・市関係	病院
5月15日	93	88	16	3	18	4	0	0	0	33	1	1	4	4	4
5月30日	102	92	17	3	17	7	0	2	0	36	3	0	0	6	1
6月12日	84	83	15	4	23	6	0	4	0	15	4	1	4	7	0
7月25日	74	72	5	0	32	10	6	1	1	9	5	1	2	0	0
8月29日	83	76	7	1	21	6	0	2	0	33	1	3	0	1	1
10月21日	35	30	2	0	8	5	0	1	0	10	2	1	0	1	0
1月29日	52	52	15	0	12	3	0	0	1	1	11	6	0	3	0
集計	523	493	77	11	131	41	6	10	2	137	27	13	10	22	6

2015.1現在

ii)

講師	依頼先 (自治体)	依頼先 (園や学校)	依頼先 (その他)	テーマ(アナ フィラキシー)	テーマ (その他)	合計
医師	9件	14件	0件	21件	2件	23件
その他	15件	0件	15件		30件	30件

iii)学会運営の協力と、ワークショップ3「ミニアレルギー大学」の運営を行った。

また、市民公開講座に、講師(管理栄養士)の派遣を行った。

iv) アレルギーっ子のフェア開催 (2015年3月7日(土)～3月8日(日))名古屋国際会議場 展示室
3/7(土)「環境・スポーツ・アレルギー」(坂本龍雄先生)講演会 83名

「給食管理の情報システムの取組みと将来の展望」シンポジウム 112名

(大人157名・子ども38名・うち家族で参加は19家族)

3/8(日)168名(大人88名・子ども80名)(うち家族で参加は66家族)

v) 各地の患者会が主催する講演会に協力する

結果⇒11/21(金)岡崎アレルギーの会主催

テーマ「食物アレルギーっ子の栄養の補い方」榊原

12/7(日)小牧・アレルギーっ子の集いクリスマスローズ主催

テーマ「おとなと子どもの防災カレッジ」中西

1/11(日)RIN!RIN! 豊橋アレルギーっ子の会主催

テーマ「第2回 みんなで知ろう 食物アレルギー」

1/24(土)長久手アレルギーの会主催 講演会・伊藤浩明先生

テーマ「アレルギーを“知る・考える” in 長久手」

1/25(日) 西尾アレルギーの会・アレッコ元気/西尾の保育園、学校等の給食を考える会主催

テーマ「食物アレルギー勉強会」中西

3/4(水) 春日井アレルギーの会 企画 栄養の勉強会

テーマ「離乳食の進め方・幼児食での栄養補給・負荷試験後の解除食のすすめ方」榊原

4)アレルギー相談事業

事業内容	ホームページなどの閲覧者や園や学校などから、Eメールや電話によるアレルギーなどの相談に対して各分野の専門家などによるアドバイス活動を行う。
結果	<p>【メール相談件数】 2014年4月～2015年3月 約100件 内容は、患者会の問い合わせ、企業からの商品紹介、マスコミからの取材依頼、防災対策に関する問い合わせが多く見られた。</p> <p>【電話相談件数】 患者家族からの相談 57件（給食 6件、治療 12件、成人 7件、会の運営 5件、その他 27件（寝具・防災・転居・学童保育など）） 企業・マスコミからの相談 44件（マスコミ8件、自治体17件、企業13件、その他6件）</p>

5)アレルギー大学修了生(マイスター・サポーターを含む)による地域ミニ講座

事業内容	<p>i) 修了生がアレルギー大学のDVDを利用し地域でミニ講座を開催する仕組みを構築する。</p> <p>ii) 地域の「会」への支援を行う「サポーター」の育成をはかり、「サポーター制度」確立を目指す。サポーター会議を年に4回開催する。</p>
結果	<p>i) ミニ講座実施に至らず。</p> <p>ii) サポーター会議は、6/8(総会)、9/7(ベーシックプログラム)、11/23(研究実践講座) 3/7.8(アレルギーっ子のフェア) の年に4回実施した。</p>

(2) 専門職の育成支援事業

1) 「アレルギー大学」事業

事業内容	愛知、静岡、岐阜、三重、新潟、千葉、京都、各会場にて開講する。 千葉会場は、「NPO法人千葉アレルギーネットワーク」が発足し、運営を移行していく。京都は、「NPO法人アレルギーネットワーク京都 ぴいちゃんねっと」が中心となり運営を行うが、当日運営には支援ネットスタッフがサポートする。今年度は、会員管理システムを、新たに構築(システム会社に発注)する。																																																
結果	<p>【愛知会場(名古屋市)基礎・初級、中級、上級、研究実践、特別実習】 15講座17調理実習2医療研修20特別実習</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>愛知</th> <th>受講生</th> <th>基礎・初級</th> <th>中級</th> <th>上級</th> <th>研究</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>240</td> <td>155</td> <td>155</td> <td>119</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>栄養・調理コース</td> <td>177</td> <td>114</td> <td>111</td> <td>85</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>教育・医療コース</td> <td>54</td> <td>37</td> <td>40</td> <td>33</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>コースなし</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>修了人数</td> <td></td> <td>116</td> <td>85</td> <td>56</td> <td>マイスター</td> </tr> <tr> <td>修了:栄養・調理コース</td> <td></td> <td>87</td> <td>23</td> <td>37</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>修了:教育・医療コース</td> <td></td> <td>29</td> <td>62</td> <td>19</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	愛知	受講生	基礎・初級	中級	上級	研究	人数	240	155	155	119	59	栄養・調理コース	177	114	111	85	47	教育・医療コース	54	37	40	33	10	コースなし	9	4	4	1	2	修了人数		116	85	56	マイスター	修了:栄養・調理コース		87	23	37	3	修了:教育・医療コース		29	62	19	0
愛知	受講生	基礎・初級	中級	上級	研究																																												
人数	240	155	155	119	59																																												
栄養・調理コース	177	114	111	85	47																																												
教育・医療コース	54	37	40	33	10																																												
コースなし	9	4	4	1	2																																												
修了人数		116	85	56	マイスター																																												
修了:栄養・調理コース		87	23	37	3																																												
修了:教育・医療コース		29	62	19	0																																												

【静岡会場（静岡市）基礎・初級、中級】9講座3調理実習

静岡	受講生	基礎・初級	中級	上級	研究
人数	29	28	18		
栄養・調理コース	26	24	18		
教育・医療コース	2	2	0		
コースなし	2	2	0		
修了人数		16	11		
修了:栄養・調理コース		15	10		
修了:教育・医療コース		1	1		

【三重会場（津市）基礎・初級】2講座2調理実習（インターネット受講含）

三重	受講生	基礎・初級	中級	上級	研究
人数	6	6			
栄養・調理コース	4	4			
教育・医療コース	2	2			
コースなし	0	0			
修了人数		4			
修了:栄養・調理コース		2			
修了:教育・医療コース		2			

【岐阜会場（岐阜市）基礎・初級】2講座2調理実習（インターネット受講含）

岐阜	受講生	基礎・初級	中級	上級	研究
人数	30	30			
栄養・調理コース	18	18			
教育・医療コース	11	11			
コースなし	1	1			
修了人数		23			
修了:栄養・調理コース		14			
修了:教育・医療コース		9			

【千葉会場（千葉市）基礎・初級、中級】14講座5調理実習

千葉	受講生	基礎・初級	中級	上級	研究
人数	90	55	44	49	
栄養・調理コース	69	50	30	35	
教育・医療コース	0	0	0	0	

コースなし	21	5	14	14	
修了人数		27	12	11	
修了:栄養・調理コース		27	12	11	
修了:教育・医療コース					

【新潟会場（新潟市）基礎・初級、特別講座】6講座2調理実習

新潟	受講生	基礎・初級	中級	上級	研究
人数	27	27			
栄養・調理コース	19	19			
教育・医療コース	5	5			
コースなし	3	3			
修了人数		16			
修了:栄養・調理コース		12			
修了:教育・医療コース		4			

【京都会場（京都市）基礎・初級】6講座2調理実習

京都	受講生	基礎・初級	中級	上級	研究
人数	28	28			
栄養・調理コース	17	17			
教育・医療コース	4	4			
コースなし	7	7			
修了人数		22			
修了:栄養・調理コース		17			
修了:教育・医療コース		5			

【食物アレルギーマイスター】

第9期より3名が、マイスター審議委員により認定された。

【会員管理システムの構築】

システム会社に委託し、アレルギー大学会員管理システム「メイサ」を構築した。
 (1,296,000円うち370,000円は、ドコモ市民活動団体助成金「3つのNPOによるアレルギー大学の協働開催」をあてた。)

「メイサ」は、千葉・京都・沖縄のアレルギー大学運営団体も使用できるようにした。

2)「インターネットアレルギー大学」事業

事業内容	<p>i) 第6期アレルギー大学の講座をインターネットで配信し受講してもらう。特に「アレルギー大学を開催できない」地域でもアレルギー大学が受講できる機会を確保し、各地で「アレルギーの会」をサポートし、地域・学校・保育園でアレルギー対応がすすむよう取り組みをする。アレルギー大学を開講している地域では医学の基礎・初級など可能な講座を開催しつつ、アレルギー大学インターネット講座との組み合わせにより必要な単位習得が出来るようにする。第9期アレルギー大学の講座を撮影して教材化し、2015年度より新しい講座内容に入れ替えをする。</p> <p>ii) チラシの配布先を増やす。PP資料を各級一律,000円とし、希望者に送る。</p> <p>iii) アレルギー大学iPad用電子教材の作成を検討する。</p> <p>各講座のiPad用教材を作成し、学校・保育園、食品産業で活用できる総合ネットワークシステムの構築をひきつづき検討する。</p>																																												
結果	<p>結果⇒※リニューアルの為、6月末でお申し込み受付を終了した。</p> <table border="1" data-bbox="376 763 866 1037"> <thead> <tr> <th>コース</th> <th>申込み 延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎・初級</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>中級</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>基礎・初級+中級</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>基礎・初級+中級+上級</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="948 701 1358 994"> <tbody> <tr> <td>愛知県</td> <td>13</td> <td>三重県</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>東京都</td> <td>2</td> <td>岐阜県</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>京都府</td> <td>1</td> <td>栃木県</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>大阪府</td> <td>1</td> <td>宮城県</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>神奈川県</td> <td>1</td> <td>熊本県</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>沖縄県</td> <td>1</td> <td>群馬県</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>広島県</td> <td>1</td> <td>静岡県</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>滋賀県</td> <td>1</td> <td>兵庫県</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>東日本大震災で被災された方への無料配信は、1名受講中。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第9期アレルギー大学の講座を撮影して教材化した。(名古屋工学院専門学校に依頼) 2015年度にリニューアル配信をする。 	コース	申込み 延人数	基礎・初級	17	中級	1	基礎・初級+中級	2	基礎・初級+中級+上級	9	合計	29	愛知県	13	三重県	3	東京都	2	岐阜県	1	京都府	1	栃木県	2	大阪府	1	宮城県	1	神奈川県	1	熊本県	1	沖縄県	1	群馬県	1	広島県	1	静岡県	2	滋賀県	1	兵庫県	2
コース	申込み 延人数																																												
基礎・初級	17																																												
中級	1																																												
基礎・初級+中級	2																																												
基礎・初級+中級+上級	9																																												
合計	29																																												
愛知県	13	三重県	3																																										
東京都	2	岐阜県	1																																										
京都府	1	栃木県	2																																										
大阪府	1	宮城県	1																																										
神奈川県	1	熊本県	1																																										
沖縄県	1	群馬県	1																																										
広島県	1	静岡県	2																																										
滋賀県	1	兵庫県	2																																										

3)「アレルギー大学ベーシックプログラム」事業

事業内容	<p>栄養士や保育士養成校の学生を対象に、アレルギー大学基礎講座を一日に凝縮して実施し、基礎講座修了証を発行する。今年度は、一般受講も受け付ける。</p>
結果	<p>【新潟ベーシック】 開催日 2014年7月13日(日) 定員150名で募集したところ、お申込み66名／出席57名／欠席10名 出席57名内訳：学生41名、一般18名</p> <p>【愛知ベーシック】 開催日 2014年9月7日(日) 定員300名定員の応募だったが、お申込みが殺到し、急遽1部屋増やし、定員を550名とした。 また、保育コンソーシアムの事業に協力し、サテライト会場にも映像を配信した。(名古屋短期大学、岡崎女子大学、柳城短期大学) 5月よりチラシ配布を開始し、5月24日には、募集定員に達したため、受付を締め切った。 主会場のお申込み550名／出席445名／欠席105名 出席445名内訳：学生433名、一般12名 サテライト会場のお申込み180名／出席161名(内2名一般)／欠席19名</p> <p>【沖縄ベーシック】 沖縄サポートデスク準備委員会より委託を受け開催の支援をした。</p>

<p>主催：沖縄サポートデスク準備委員会 共催：認定NPO法人アレルギー支援ネットワーク 開催日2014年10月25日（土） 会場：沖縄大学3号館102教室（定員100名） 9月より受付を開始し、9月30日に定員に達した。 お申込み：学生0名、一般100名 参加者数：94名（内学生1名、関係者3名） 【千葉ベーシック】NPO法人千葉アレルギーネットワークの事業として実施した。 主催 NPO法人 千葉アレルギーネットワーク 開催日 2014年8月31日（日） 千葉大学医学部の講義室を使用し、周知などの協力も得て開催。 定員100人のところ、61名の受講があった。 広報は、千葉県内・東京都内の教育・看護・管理栄養関連の19大学 におこなった。</p>

4)アレルギー教本普及事業

事業内容	保育園・学校などが行うアレルギー給食の担い手である栄養士、調理員、保育士、教員など専門職を対象に、食物アレルギーの手引書「食物アレルギーの基礎と対応」を普及する。
結果	アレルギー大学関連で743冊、名古屋学芸大学で82冊、その他書店140冊、その他63冊 合計1028冊販売 残数694冊

5)「おいしく治す 食物アレルギー攻略法」小冊子普及事業

事業内容	第31回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会の記念誌「おいしく治す 食物アレルギー攻略法」を増刷し、栄養士など専門職を対象に普及する。
結果	11月に発刊 初版1000冊 11/8.9に開催された、第51回日本小児アレルギー学会(三重県四日市市)の会場にNPOとして展示ブースを出展し紹介した。学会内書店で255冊を販売した。 さらに、ひやりはっと事例集・アレルギー大学パンフレット配布時にチラシを折り込んだことにより、3月末までにインターネット・FAX注文で合計893冊販売し、次年度に2000冊増刷することを決定した。

(3)調査研究事業

1) 自主研究事業

今年度は実施しない。

2) 共同研究事業

① 外食産業調査研究事業(名芸大共同調査)

事業内容	名古屋学芸大学（和泉教授）と協同でおこなった外食産業の実態調査をもとに作ったマニュアル(案)を、ホテル・旅館に焦点をあてて配布し、実践へとすすめ、さらに問題点を検証し、ホテル・旅館で汎用できる内容に仕上げる。(本事業は「食品委員会」でおこなう)
結果	6月に蒲郡市内の旅館・ホテルにおいてマニュアル(案)の説明をし、試験的に実践中。

② ひやりはっと事例集積研究事業

事業内容	藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院小児科・宇理須厚雄教授・近藤康人准教授と協働で、アレルギー疾患に関する「ひやりはっと事例」を常時収集、解析し、教育関連施設事故防止などに役立てていただく。
結果	2014年度は未実施。ファディア寄付助成事業により、2014版を1万冊無償配布した。

③ アレルギー食品誤食防止のための注意喚起システム構築事業

事業内容	名古屋工業大学 伊藤孝行研究室との協同研究として、アレルギー対応を支援する給食管理・注意喚起システムを構築する。
結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4/21 名工大でミーティング：(名工大・伊藤孝行研究室、支援ネットワーク、袋井市教育委員会&給食センター) アレルギーシステムの導入を目指して、研究開発する事について打ち合わせ ・ 5/26-28 袋井市給食センター訪問：(名工大・伊藤孝行研究室) システムについての詳細設計の為に、給食センターの栄養士からヒヤリング以降、本格的にシステム開発を開始 7/9 名工大でミーティング(名工大・伊藤孝行研究室、支援ネット) システムづくりのための打ち合わせ 8/6 袋井市給食センター訪問：(名工大・伊藤孝行研究室) テスト版のシステムの説明。動作試験の説明など。 8/6-20 袋井市給食センターにて、動作試験 9/4 袋井市給食センター訪問：(名工大・伊藤孝行研究室) 動作試験による不具合等のヒヤリング 9/30 袋井市給食センター訪問：(名工大・伊藤孝行研究室) 来年度の計画について打ち合わせ 10/8 名工大でミーティング：(名工大・伊藤孝行研究室、支援ネット) 袋井市との来年度の計画についての報告及び打ち合わせ 10/14-10/31 袋井市給食センターにて動作試験 10/31 袋井市給食センター訪問：(名工大・伊藤孝行研究室) 動作試験による不具合等のヒヤリング 11月- 不具合の修正、調子及び試験 2015.1より 袋井市中部学校給食センターにおいて、試験運用の予定 2015.4より 袋井市中部学校給食センターにおいて、本運用の予定 <p>今回の開発は、給食センターを中心としたアレルギー対応のシステム。 今後、さらに研究開発を進める事により、学校(養護教諭、担任)や家庭(父兄)も含めてアレルギー情報を共有可能な「アレルギー対応給食危機管理システム」の実現を目指す。</p>

3) 受託事業

①臨床研究事業

事業内容	<p>i) ビフィズス菌及びDHAを配合した牛乳アレルギー用ミルク『MA+DB』に関する哺育調査</p> <p>ビフィズス菌及びDHAを配合した牛乳アレルギー用ミルク『MA+DB』の安全性と便性状・便細菌叢に及ぼす影響を確認するためのパイロットスタディを受託、実施する。</p> <p>ii) 昨年度の成果を踏まえて、麹菌発酵大豆培養物のアトピー性皮膚炎の症状緩和に対する効果について新たな症例を追加して検討する。</p>
結果	<p>i) 7人のリクルートをし、パイロットスタディ実施中。計画人数に達しなかったため、2015年度も継続実施する。</p> <p>ii) 予定の人数に若干足らなかったが、患者のフォローアップを継続中。6月の最終受診で完了して、データ解析を進める予定。</p>

②調査事業

事業内容	計測ツールを用いた室内アレルゲンケアマネジメントの実地検証。
結果	愛知県内患者会に協力依頼。8団体12名の患者宅において調査を実施。(3/31-4/22) モニターの紹介を行った。

(4) 災害救援及び防災対策事業

1) 東日本大震災救援事業

事業内容	<p>発災後3年間の支援活動、啓発活動を礎に、下記の事業が継続できるよう、今年度は助成金の申請を行う。</p> <p>(申請事業内容)</p> <p>被災地において、アレルギーへの理解を広げる活動を、医療機関、自治体、子育て支援団体と協働で行う。</p> <p>i) 気仙地域において、「アレルギー講演会」や個別相談、患者家族同士の交流会を開催する。</p> <p>ii) 患者をサポートする専門職への支援として、「アレルギー講演会」「インターネットアレルギー講座の無料配信」を行う。</p> <p>iii) 2012年度～2013年度に実施した「仮設住宅の住環境調査」の結果を、陸前高田市・大船渡市などの関係機関に報告し、アレルギー患者および一般住民に対する健康的な住まい環境を確保するための提案をする。</p> <p>iv) 「仮設住宅の住環境調査」の結果を分析し、検証をするために助成金申請をする。申請は、名工大水谷研究室と協働で行う。</p> <p>v) 東日本大震災支援事業の報告会(医師研修・子育て支援・自治体など関係者を招く)を開催するために、助成金申請をする。</p> <p>vi) 岩手県内の若手の小児科医への研修支援として、あいち小児保健医療総合センターでの研修を企画実施する。</p>
結果	<p>*東日本大震災におけるアレルギー患者に対する支援活動を2014.3末をもって終了し、HPに3年間の活動報告と、決算報告を掲載した。</p> <p>*2012年度～2013年度に実施した「仮設住宅の住環境調査」の結果のまとめを、名古屋工業大学・水谷章夫研究室と協働で行った。陸前高田市・大船渡市への報告は、2015年度に行う。</p>

	<p>*赤い羽根協同募金・助成金事業(ボラサポ)</p> <p>「被災地のアレルギー患者の命を守る事業」(アレルギーの普及啓発事業)159万円 2014.12~2015.9 の事業として実施する。</p> <p>下記事業を2015年度に実施するため、2014.3 に打ち合わせと準備のため大船渡市と陸前高田市を訪問した。</p> <p>【助成事業内容】</p> <p>i) アレルギー講演会の開催</p> <p>ii) インターネットアレルギー大学の無料配信</p> <p>iii) アレルギー相談会の実施 講演会の会場において、医師による相談会を開催する。</p> <p>iv) 子育てサポータースマイル およびNPO法人子育てシップのスタッフのアレルギー勉強会の開催</p>
--	---

2) 東海・東南海・南海地震(南海トラフ地震)に備える事業

事業内容	<p>i) 東海地域の患者会が、平常時から自助・共助・公助の仕組みを作っておくためのサポートをする。</p> <p>ii) 東海地域で備蓄しているアルファ化米の入れ替えを、患者会および防災関連団体・医療機関と協力して実施する。</p> <p>iii) 発災時の支援体制を確立し訓練を実施する。</p> <p>iv) 東海アレルギー連絡会の事務局として、防災対策に関する司令塔の役割を果たす。</p> <p>v) 東海アレルギー連絡会と協働して、次期救援システムの検討をするために助成金の申請をする。</p>
結果	<p>i)患者会の定例会に参加をする時には、必ず平常時から自助・共助・公助の仕組みを作っておくことを常に伝えた。</p> <p>ii)備蓄をしている患者会では、消費期限が近づく前に、防災訓練などの普及啓発活動に使用したり、試食用として販売するなど、入れ替えに努力した。</p> <p>iii)未実施</p> <p>iv)東海アレルギー連絡会の事務局として、5/18(日)、7/5(土)、11/29(土)、2/1(日)に、交流会を開催し、司令塔の役割を努めた。6/10(火)には、災害に備えて、支援ネットから団体会員24団体に発信をして、それぞれの会で「安否確認訓練」をおこない、結果を7/5(土)にもちより検討を行った。</p> <p>v)未実施</p>

3) 災害ボランティアなどの団体と協同する事業

事業内容	<p>「震災がつなぐ全国ネットワーク」や東海地域の災害ボランティア団体・NPO と協同し、アレルギー患者家族の要支援対策の必要性を伝え、その具体化をすすめる。</p>
結果	<p>地域の患者会が、自治体や災害ボランティアと協働できるよう支援した。また、防災のイベントに患者会とともに参画した。</p> <p>6/21-22 名古屋市緑区・鳴海東部小学校、宿泊型防災訓練</p> <p>7/25(木)桑名防災支援ネット 勉強会</p> <p>8/30(土)豊橋市・防災訓練</p> <p>9/11-12 商店街逸品・名品テストマーケット2014(金山駅)において、NPO法人レスキューストックヤードと一緒に防災啓発ブースを出展。アルファ米の紹介をした。</p> <p>10/19(日) 三重県松阪市防災訓練</p> <p>11/1(土) 名古屋市緑区防災フェスタ</p> <p>11/9(日) 海部郡大治町</p>

	<p>11/30(日) 名古屋市昭和区 防災フェスタ 12/7(日)小牧アレルギーっ子の集いクリスマスローズ「おとなとこどもの防災カレッジ」 2/22(日)桑名防災支援ネット/桑名アレルギーっ子集まれ! 勉強会</p> <p>震災がつなぐ全国ネットワーク主催 9/28(日)「支援のすき間に気づくためのポスター作成ワークショップ」に参加。アレルギー・妊婦・外国人など、災害時に支援のすき間に入る人たちに気づくポスター作りをした。</p> <p>なごや災害ボランティア連絡会 毎月第一木曜日18:30-20:30 に参加をし、アレルギーに関する啓発に努めた。その結果、昭和区・西区・緑区のボランティア団体の開催する防災イベントへの協力依頼があり、啓発活動ができた。</p>
--	---

4) 安否確認登録と緊急カード・シリコンリング普及事業

事業内容	災害時、親と離れ離れになったとき、アレルギー児と分かる緊急カード、シリコンリングを普及する。また、安否確認システム登録者に対し、定期的にメールを配信し情報の伝達を確認、発災時にシステムがスムーズに稼働できるようにしておく。
結果	安否確認システム登録者 1,500名(3/31現在) 8.15に登録者に対してメール配信。内容は、防災訓練に参加をし、周囲の方に対して、アレルギーに関する理解を深めようという内容で配信をした。 国内で震度5以上の地震が発生した場合は、その地域に登録者に対して安否確認メールを配信した。(11/22長野県北部地震、2/6徳島南部地震)

5) 他地域で発生する大規模災害に備えた救援事業

事業内容	他地域で大規模災害が起きた場合のアレルギー患者の支援については、平常時から他地域団体と災害対策の情報交換および相互支援体制の確立ができるよう、助成金を申請し交流会を開催し啓発活動を行う。今年度も、「東海・関西・中国地域ネットワーク会議(交流会)」を行い、勉強会とネットワークの設立を行う。(真如苑助成金事業/アレルギーネットワーク京都ぴいちゃんねっと・チームアレルギー(広島)との共同開催) 他地域で災害が起きた場合は、事務局に災害対策委員会を立ち上げ他団体(災害NPO・小児アレルギー学会・患者会・自治体など)と連携をして支援活動を行う。
結果	災害時に役立てていただけるよう、アレルギー対応アルファ化米が備蓄してある自治体一覧表、アレルギー対応ミルクを販売しているドラッグストア一覧表をHPに掲載した。 東海・関西・中国地域ネットワーク会議(第2回交流会) 12/13(土)14(日) 和歌山にて開催 中国(広島・姫路)、京都、大阪、東海連絡会の交流会を開催し、9団体9人が参加した。NPO法人チームアレルギー(広島)・NPO法人アレルギーネットワーク京都・ぴいちゃんねっと・アレルギー支援ネットワーク 共同開催。(真如苑 助成金事業)

(5) 関連用品の販売普及事業

事業内容	<p>i) 共同購入物品販売事業 ショッピングカートの作成・運用をする。 季節の変わり目やフェア等にて特別販売やキャンペーンを行う。 会の活動支援として共同購入の仕組みを周知する。</p> <p>ii) 共同購入認証商品 審査事業 申請書の提出により、経営委員会および関連委員会にて検討をする。</p>
結果	<p>i) 10月にアルファ化米、2月に寝具のキャンペーンをそれぞれ行った。 患者会にて商品のPRができなかったため、注文数が減。 愛知県小規模保育所連合会の園長会・給食部会において、アレルギー対応商品の普及啓発を行い、保育園からのアルファ化米・お菓子の注文が増加した。また、『おいしく治す食物アレルギー攻略法』の販売が、日本小児アレルギー学会での販売・宣伝や配布物へのチラシの折り込みなどにより大変好調であった。</p> <p>寝具…642,832円 書籍…2,592,072円 スキンケア…381,956円 食品…1,813,252円 その他…70,996円（雑収入33,806円含む） 合計…5,501,108円</p> <p>活動助成金、アレルギー大学修了生金券使用の241,259円をひいて、 合計 5,259,849円</p> <p>ii) 申請なし</p>

(6) 医療機関への栄養士派遣事業

事業内容	<p>医療機関と委託契約を結び栄養・食事指導及び食物負荷試験の介助を行う。本年度は、従事者育成のため対象者の開拓をし、随時あいち小児保健医療センターアレルギー科での研修を行っていく。また、新たな契約先も開拓し、月の契約件数を増やしていく。</p> <p>指導は、アレルギー大学を修了、またはそれに相当する管理栄養士で、常勤栄養士2名、非常勤栄養士3名が担当する。</p>
結果	<p>7医療機関に、月1~4回、管理栄養士を派遣した。（常勤栄養士2名・非常勤栄養士4名） 名古屋市内2医療機関、三重県1医療機関、愛知県内3医療機関、静岡県内1医療機関。 指導を行う管理栄養士は、あいち小児研修・栄養士委員会各月1回に参加した。</p>

(7) 寄附助成事業

事業内容	<p>ひやりはっと事例集2014普及事業 ファディア(株)の寄付助成事業として、宇理須厚雄教授・近藤康人准教授と協働し、「ひやりはっと事例集2014」を1万部普及する</p>
結果	<p>11/6 全国の新聞社にプレスリリース。 HP上でも無償配布の募集開始(ファディア(株)2,500冊 支援ネット7,500冊を普及) 2/20 に、配布事業を完了した。</p>

	<p>47 都道府県すべてに配布をすることができた。また、事業活動の広がりに伴い様々な団体を通じての一括配布先が増加し、広範囲の普及啓発活動に繋がった。</p> <p>学会や研究会、講演会を通じての配布に取り組んだ。</p> <p>ひやりはっと事例集の普及が、自治体(教育委員会)による「ひやりはっと事例収集」の取組みに貢献したと考えられる。</p>
--	---

2. その他の事業に係る事業

- (1) ベットマットの販売事業は従来どおりアレルギーの分野のみとし、その他の事業は行わない。
- (2) 愛知県職員の「2年目現場体験研修(NPO)」受け入れの協力(5年次目)

事業内容	愛知県に入職して2年目となる職員の「NPO活動を体験する」研修として、7月から12月の期間、17人の研修生を受け入れる。
結果	7/7~12/12 までの期間に、17人の研修生を受け入れた。NPOの活動を体験した研修生の感想では、NPO団体の活動の柔軟性を感じた、何のために活動するのかといった目的意識を強く持っていると感じた、必要とされても行政の手が回っていないと感じた、行政との協働することの大切さを学んだ・・・などの内容が多くあげられた。

Ⅲ. 会議の開催に関する事項

1. 総会

(1) 通常総会

- ア) 開催日時及び場所 平成26年6月8日(日) 13:00-14:30 千種生涯学習センター
- イ) 議題 (1) 第1号議案 2013年度事業報告(案)について (提案 中西)
- 東日本大震災支援事業報告
- (仮設住宅など住まいの環境調査報告 名古屋工業大学・夏目欣昇准教授)
- (2) 第2号議案 2013年度収支決算報告(案)について (提案 鹿島)
- (3) 第3号議案 会計監査報告について (報告 長谷川監事 代理)
- (4) 第4号議案 2014年度事業計画(案)について (提案 伊藤)
- (5) 第5号議案 2014年度収支予算(案)について (提案 中西)
- (6) 第6号議案 役員 理事長の選任について (提案 中西)

2. 理事会

(1) 第一回理事会

- ア) 開催日時及び場所 平成26年6月8日(日) 14:30-15:30 千種生涯学習センター
- イ) 議題 (1) 理事長及び副理事長の選出と各種委員会の設置について
- (2) 顧問の選任について
- (3) 総務担当理事及び事務局の体制について

(2) 第二回理事会

- ア) 開催日時及び場所 平成26年11月24日(月・祝) 9:30-12:00 中村生涯学習センター
- イ) 議題 (1) 上半期事業報告および上半期決算について
- (2) 2014年度・下半期事業計画・下半期予算について

- (3) 審議・検討事項などについて
 - ①第10期アレルギー大学 京都・沖縄 における開催について
 - ②事務局体制について
 - ③理事長の選出について
- (4) 今後の理事会開催計画

(3) 第三回理事会

ア) 開催日時及び場所 平成27年2月15日(日) 9:30-12:00 中村生涯学習センター

- イ) 議題
- (1) 2014年度 事業報告 および 決算予測
 - (2) 2015年度(平成27年度)事業計画および予算について
 - (3) 審議・検討事項
 - ①Panasonic エコシステムズ・理事(小山光幸理事)退任の件
 - ②保健文化特別賞与
 - ③事務局体制について
 - ④新理事長 2015年度 年次総会において就任
 - ⑤就業規則の改訂について
 - (4) 今後の理事会開催計画

(4) 第四回理事会

ア) 開催日時及び場所 平成27年5月31日(日) 9:30-12:00 中村生涯学習センター

- イ) 議題
- (1) 平成26年度 事業報告および決算について
 - (2) 平成27年度事業計画・予算(案)について
 - (3) 審議・検討事項などについて
 - ①食物アレルギー系統的レビューリストのWebsite公開について(別紙・二村理事より)
 - ②急速経口免疫療法を受けた患者さんたちの「懇親会」の開催について
 - ③リーフレット改定版 作成について
 - ④アレルギー大学の方向性
 - ⑤支援ネットの将来展望
 - ⑥人件費の捻出について